

13 プログラミングとアニメーション

コンピュータプログラムは、社会生活や科学のための道具であるだけでなく、アートやデザインの分野で表現手法のひとつとしても使われます。プログラムによって制御することで、インパクトのあるかたちや動き、さらには人の動作とのインタラクションを生み出すことが可能です。この講義では、インタラクティブなアニメーションを使い、データを視覚化するプログラム制作のデモンストレーションを行います。

講 師

有賀 妙子 特任教授

専 門 分 野

情報教育、情報デザイン

現在の研究テーマ

メディアデザインにおけるプログラミングの役割とその教育に関する研究

担 当 科 目

メディア創造応用演習、プログラミング

出 講 可 能 日

月曜日

講義に必要な機材

プロジェクター、スクリーン、可能であれば受講する生徒が使用できるインターネットに接続されたパソコン（講師用パソコンは持参）

14 あなたの知らないテレビの世界

元テレビプロデューサーとしての経験を踏まえ、現在のテレビの置かれた状況、特質を分かりやすく解説して参ります。みなさんのテレビに対する見方が変わるような裏側のお話も致しますよ。

講 師

影山 貴彦 教授

専 門 分 野

メディアエンターテインメント論

現在の研究テーマ

放送を中心としたメディア研究

担 当 科 目

放送番組制作、メディアエンターテインメント論

出 講 可 能 日

金曜日

講義に必要な機材

特になし

研究テーマの詳細



15 新しい自分の世界を表現してみよう!ーK-pop音楽のプロデュース方法の解説ー

K-pop は世界的なポップ音楽に成長し、現在世界中の人々に楽しまれています。この講義では、最新メディアを使った K-pop 音楽やダンスの具体的な作り方と グループのプロデュースの方法について解説していきます。将来、音楽制作やアーティストプロデュースを夢めている人は是非この授業を受講してみてください！

講 師

川田 隆雄 教授

専 門 分 野

プロデュース学、社会構成主義、教育工学

現在の研究テーマ

プロデュース学、プロデュース能力研究の継続と社会構成主義型組織の研究、教育工学

担 当 科 目

グローバルエンターテインメント論、プロデュース論

出 講 可 能 日

月・火曜日（水曜日も日によっては可）

講義に必要な機材

プロジェクター・スクリーン
（大きなものが望ましい）、
大きな音が出せる部屋

研究テーマの詳細



16 映像表現の創造性

映画・ドラマ・アニメなどの映像表現の世界に注目し、具体的な作品を参照しながら、創造性の核である表現内容とその方法（作り手は何をどのように表現したのか）についての分析を行います。みなさんを、作品を鑑賞する立場から創作する立場へと誘いたいと思います。

講 師

森 公一 特任教授

専 門 分 野

メディアアート

現在の研究テーマ

生体情報を活用したメディアアートの実践的研究

担 当 科 目

メディアアート論、映像表現論

出 講 可 能 日

木曜日

講義に必要な機材

プロジェクター、スクリーン、
スピーカー

研究テーマの詳細



17 マンガはなぜ面白いのか

マンガを楽しんでいる人は多いかと思いますが、趣味・娯楽のための物だとか軽い読み物だというイメージを持たれがちです。ですが、マンガは表現形式が異なるユニークなメディアのひとつなのです。では一体こういったモノなのか、解説をもとにマンガのリテラシーを理解し、出版・メディアミックス・電子コミック等の観点からも分析することで、みなさんの持つマンガのイメージを変えてみたいと思います。

講 師

村木 美紀 准教授

専 門 分 野

図書館情報学

現在の研究テーマ

ヤングアダルトのメディアと読書

担 当 科 目

マンガ文化論、メディア創造基礎演習

出 講 可 能 日

金曜日

講義に必要な機材

プロジェクター、スクリーン

18 一枚の写真が語り出す ―メディアと世界の不思議な関係―

メディアの創造は情報発信者だけの仕事ではありません。不可視なものを可視化するメディアの働きを通して、受信者もまた新しい自己の世界を創造することになります。身近な写真というメディアを手がかりにして、愛や悲しみ、そして困難や希望といった見えないこころの世界を描き出すメディアと世界の不思議な関係について考えてみましょう。

講 師

中村 信博 特任教授

専 門 分 野

宗教学、メディア文化史

現在の研究テーマ

宗教とメディアの倫理的相関

担 当 科 目

メディア文化史、宗教とメディア

出 講 可 能 日

火・木曜日（不可能日あり）

講義に必要な機材

プロジェクター、スクリーン

研究テーマの詳細



19 Project Planning の実践

講座における産官学連携企画の実例から立案 / 実行 / 目標達成までの過程を検証し、社会的実践学習の可能性を考察する。

講 師
関口 英里 教授

専 門 分 野
都市メディアと消費の仕掛け研究、
プロジェクト型教育

現在の研究テーマ
消費文化装置の分析、企画実践的学習の推進

担 当 科 目
都市メディア論、プロジェクトプランニング演習

出 講 可 能 日
月・土曜日

講義に必要な機材
プロジェクター、スクリーン、パソコン、
ネット接続環境、部屋の広さによりマイク
(複数あればなおよい)

研究テーマの詳細



20 思考のデザイン:ジェンダー・バイアスとグラフィックデザインの関連性について

国際ジェンダー・ギャップ指数調査では、日本は最下位である。そのことに気がつく、日常生活の中にある、男尊女卑を反映した言葉やデザイン媒体に気がつく。21 世紀の今日、私たちは徹底的にデザインされた環境に囲まれている。本講義では、グラフィックデザインの裏側にある社会構造の偏見を批判的に考察する。

講 師
高木 穂子 教授

専 門 分 野
グラフィックデザイン、タイポグラフィ、
本のデザイン

現在の研究テーマ
タイポグラフィ、文字学、ジェンダー

担 当 科 目
グラフィック・WEB 基礎演習、
グラフィックデザイン論

出 講 可 能 日
月・金曜日

講義に必要な機材
プロジェクター、スクリーン

研究テーマの詳細



21 アートからみるメディアの世界

「メディアアート」と呼ばれる美術について紹介しつつ、メディア創造学科で学ぶメディアをめぐる研究と制作の関係性について考えます。

講 師
梅田 拓也 助教

専 門 分 野
メディア研究

現在の研究テーマ
ドイツのメディア研究の歴史

担 当 科 目
マスコミュニケーション論、ソーシャルメディア論

出 講 可 能 日
月曜日

講義に必要な機材
プロジェクター、スクリーン、
HDMI ケーブル

研究テーマの詳細



22 「使いやすさ」を考える

かつていいけれど、使いにくいモノ。おしゃれだけど難しいアプリ。若者には便利だけれど、お年寄りには使いにくい情報機器。機器が高機能化する今日、「使いやすさ」という点から見るとモノは複雑になりむしろ使いにくくなっているように思えます。使いやすさはデザインできるのか。シンプルで身近なモノから未来の機器までを題材に、皆で考えます。

講 師

和氣 早苗 教授

専 門 分 野

ユーザインタフェース、
情報デザイン

現在の研究テーマ

機器のユーザインタフェースに使われる音・音声の
デザイン

担 当 科 目

ソフトウェア概論、ヒューマンインタフェース論

出 講 可 能 日

月・木曜日

研究テーマの詳細

講義に必要な機材

プロジェクター、スクリーン

